MND-2119

第 1 部（モジュール 1）
申請書等行政情報及び添付文書に関する情報

1.9 一般的名称に係る文書

持田製薬株式会社

1.9 一般的名称に係る文書

(1) 一般的名称

1) JAN

昭和 62 年 7 月 9 日の第 3 回医薬品名称調査会において下記のとおり承認された。

JAN（日本名）：イコサペント酸エチル

JAN（英名）：ethyl icosapentate

2) INN

WHO の Recommended Internatinal Nonproprietary Names (Rec. INN):List 30 [WHO Drug Information Vol.4, No.3, P.143 (1990)]に掲載された。

INN（英名）：icosapent

(2) 化学名

IUPAC 名：ethyl (5Z,8Z,11Z,14Z,17Z)-icosa-5,8,11,14,17-pentaenoate

(3) 一般的名称に係る文書

一般的名称の審議記録及び一般的名称を特定できる文書を以下に添付した。

写

薬審１第２号
平成２年１月２２日

各都道府県衛生主管部（局）長　殿

厚生省薬務局審査第一課長

厚生省薬務局生物製剤課長

医薬品の一般的名称について（通知）

１．今般、医薬品の一般的名称を新たに下記のとおり定めたので、御了知の上関係方面に周知方御配意願いたい。

記

受付番号	日本名	英名
６３－３９	モフェゾラク	mofezolac
６３－４３	スパフロキサシン	spafloxacin
１－１	ブロバビル	brovavir
１－２	ベノフロキサシン	benofloxacin
１－４	ザキソプロフェン	zaxoprofen
１－５	シンテプラーゼ（遺伝子組換え）	sinteplase (genetical recombination)
１－７	メチコナゾール	meticonazole
１－８	トシル酸スプラタスト	suplatast tosylate
１－９	塩酸セリプロロール	celiprolol hydrochloride
１－１０	塩酸アムスロシン	amsulosin hydrochloride
１－１２	セフクリジン	cefclidin
１－１３	メオロイキン（遺伝子組換え）	meoleukin (genetical recombination)
１－１４	アムリノン	amrinone
１－１５	ジノフロキサシン	zinofloxacin
１－１６	ロイグラスチム（遺伝子組換え）	leugrastim (genetical recombination)
１－１７	オキシグルタチオン	oxiglutatione
１－１８	塩酸ナファグレル	nafagrel hydrochloride
１－１９	フマル酸セサモジル	sesamodil fumarate
１－２１	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	insulin human (genetical recombination)
１－２３	デソゲストレル	desogestrel
１－２５	リシノプリル	lisinopril
１－２７	シフルトリン	cyfluthrin
１－２８	塩酸ジルソファン	dilsofan hydrochloride
１－３２	硫酸セフピロム	cefpirome sulfate
１－３５	ランソプラゾール	lansoprazole
１－３６	デュテプラーゼ（遺伝子組換え）	duteplase (genetical recombination)
１－３７	ホステアビン	fosteabine
１－３８	フロセキナン	flosequinan
１－３９	フルマゼニル	flumazenil
１－４０	スマジノスタチン	sumazinostatin

1－44	グルカゴン	glucagon
	（遺伝子組換え）	(genetical recombination)
1－45	塩酸テルビナフィン	terbinafine hydrochloride
1－46	カルペチド	carpetide
	（遺伝子組換え）	(genetical recombination)

なお、昭和５９年３月１日薬審第１４８号で通知した ５６－２８ アルギビジン argipidine を アルガトロバン argatroban に、５８－２９ ファカルナート facarnate を モルファルナート molfarnate に、昭和６１年7月２日薬審１第４２号で通知した ６０－１１ エプタスタチンナトリウム eptastatin sodium を プラバスタチンナトリウム pravastatin sodium に、昭和６２年２月４日薬審１第２号で通知した ６０－１７ 塩酸ベグヘキサート β－シクロデキストリン包接化合物 beguhexate hydrochloride β－cyclodextrin clathrate を 塩酸ベネキサート ベータデクス benexate hydrochloride betadex に、６０－４３ ピクロザリット piclozarit を ヌクロメドン nuclomedone に 、６１－２６ ミポラマイシン mipora mici を ミロサマイシン mirosamicin に、６１－３３ アルチオプリルカルシウム altiopril calcium を モベルチプリルカルシウム moveltipril calcium に、昭和６２年３月１８日薬審１第５号で通知した １－１０ セフメプロキシム cefmeproxime を セフポドキシム cefpodoxime 、６１－５０ ムロクタシン muroctasin を ロムルチド romurtide に、６２－５ ベフラプロスト befraprost を ベラプロスト beraprost に、昭和６２年6月２５日薬審１第１６号で通知した ６１－２０ 塩酸ナカジピン nacadipine hydrochloride を 塩酸ベニジピン benidipine hydrochloride に、６２－１ 塩酸イノベリゾン inoperisone hydrochlorid を 塩酸イナペリゾン inaperisone hydrochloride に、昭和６２年１２月１７日薬審１第２４号で通知した ６１－１４ ブスラムスチン busramustine を アトリムスチン atrimustine に、６１－４７ イコペン酸エチル ethyl icopenate を イコサペント酸エチル ethyl icosapentate に、６２－８ 塩酸フラニジピン franidipine hydrochloride を 塩酸マニジピン manidipine hydrochloride に、６２－２２ クエン酸タンドピロン tandopiron citrate を クエン酸タンドスピロン tandospirone citrate に、６２－２３ ピノグレル pinogrel を イスボグレル isbogrel に、６２－３６ 塩酸アピロキサシン apiroxacin hydrochloride を 塩酸エサフロキサシン esafloxacin hydrochloride にそれぞれ改める。

２．α－シクロデキストリン及びβ－シクロデキストリンについて

今般、α－シクロデキストリンが、Proposed ＩＮＮ ＬＩＳＴ ５９ にアルファデクス alfadex として採用されたこと等に伴い、今後α－シクロデキストリン包接化合物 α－cyclodextrin clathrate は アルファデクス alfadex を、また、β－シクロデキストリン包接化合物 β－cyclodextrin clathrateは ベータデクス betadex を附したものに改める。

（例：塩酸ベネキサート β－シクロデキストリン包接化合物 benexate hydrochloride β－cyclodextrin clathrate については、塩酸ベネキサート ベータデクス benexate hydrochloride betadex を用いる。）